

東北、北陸のASRの実態と対策に関する報告会

コンクリート構造物のASR (アルカリシリカ反応) については、アルカリの総量規制や化学法などで無害と判定された骨材を使用するなどの対策により抑制が図られてきたところである。一方で、遅延膨張性の鉱物を含む骨材を使用した場合や、飛来塩分の影響を受ける地域や凍結防止剤を散布する地域にあるコンクリート構造物では、化学法で無害と判定された骨材を使用した場合であっても、ASRが発生する場合があることが確認されている。しかし、骨材産地が限られる中で、ASRが起きない骨材を選別するということが現実的ではなくなってきている。

このような中で、遅延膨張性の鉱物を含む骨材や、凍結防止剤散布などの塩分環境下でアルカリが追加供給される場合であっても、ASRの反応を抑制できる対策を導入して、今ある骨材を有効利用しつつ、コンクリート構造物をASRから守る技術が望まれている。

内閣府主導による、科学技術のイノベーション実現のため創造した国家プロジェクトである「戦略的イノベーション創造プログラム (SIP)」の中の「インフラ維持管理・更新・マネジメント技術」では、多くの研究が取り組まれ、現場に実装されてきた技術も多く、コンクリート構造物のASRの実態と対策についても研究を進めてきたところである。今般コンクリート構造物を建設・維持管理する技術者を対象に、東北、北陸のASRの実態と対策に関する最新の研究成果について周知し、ASRの実態と実構造物への対策導入の契機になること期待してこの報告会を開催するものである。



参加費
無料
(先着200名)

2019
2/19 (火)
13:00~17:00 (開場12:00)

開催
場所

宮城県建設産業会館
1階会議室

申込み

<http://urx.blue/OENn>
申込み期限 2019年2月12日(火)



開会挨拶 (13:00~13:05) 日本大学 岩城 一郎 教授

基調講演 (13:05~13:55)

フライアッシュコンクリートの地域標準化によるASR問題の解決 金沢大学 鳥居 和之 特任教授

報告1 (13:55~14:20) 東北地方におけるASRの実態 日本大学 佐藤 和徳 研究特命教授

報告2 (14:20~14:45) 東北地方におけるASR対策 日本大学 岩城 一郎 教授

休憩 (14:45~15:00)

報告3 (15:00~15:30) ASR反応のモデル化と混和材の抑制効果 金沢工業大学 田中 泰司 准教授

報告4 (15:30~16:00)

(仮) ASR劣化した橋梁の補修に関する話題提供 NEXCO東日本東北支社構造技術課 高久 英彰 課長代理

(仮) 北陸地方におけるASRに関する話題提供 石川工業高等専門学校 津田 誠 准教授

パネルディスカッション(16:00~16:55) コーディネーター 日本大学 岩城 一郎 教授

パネリスト 金沢大学 鳥居和之 特任教授/日本大学 佐藤和徳 研究特命教授/金沢工業大学 田中泰司 准教授/
東北地方整備局 小山田桂夫 道路工事課課長補佐

閉会挨拶 (16:55~17:00) 金沢工業大学 田中 泰司 准教授